

東京龍門会報

発行所
 東京都江東区塩浜2-4-20
 深川物流センター7階
 今村電機株式会社内
 電話 03(699)3791~2
 東京龍門会
 発行人
 今村 彬

平成2年度の 総会は5月19日(土)です!!



「翔ぶが如く」舞台は鹿児島

平成2年度の 東京龍門会総会のご案内

陽春の候 益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
 平成2年度の東京龍門会総会を、左記の通り開催することになりました。

加治木高等学校長並びに新納同窓会々長をお迎えし、皆様と親しく懇談いたしたいと存じますので、多数のご参加をお待ち申し上げます。

なお準備の都合上五月十四日までに同封のハガキにて必ずご回答くださいますようお願いいたします。

記

日時 平成2年5月19日(土)

午後2時から自由懇談会
 午後2時30分から総会
 午後3時30分からパーティ

場所 三州倶楽部(品川区上大崎1-20-27)

電話 03(四四七)六七七六

JR目黒駅下車、目黒通りを白金迎賓館の方へ約200米進み、高速道路の交差点を右折し、3本目の通りを左折、突当りです。
 (徒歩約10分)

会費 パーティ費 男子 六千円

女子 四千元

年会費 二千元

平成二年四月吉日

東京龍門会々長 今村 彬

TEL 03(六九九)三七九一

◎住所・職業その他に異動がありましたら、ご面倒でも同封のハガキでご通知ください。

東京龍門会の総会が平成元年5月20日(土)に例年の会場である三州クラブ(品川区上大崎二)で開催された。会場には同窓生約150名が、そして郷里から新納同窓会長と川畑学校長が列席された。議事の審議では昭和63年度の事業経過と会計報告があり、続いて平成元年度の事業計画と予算案の説明が、いづれも満場一致で承認された。それによると総会の開催(毎年5月第3土曜日)、会報の発行、囲碁、ゴルフ、釣り等の同好者の集いが計画されている。総会を終えてパーティに移り、郷里の焼酎「さつま国分」で盃を交わしながら和気藹藹の中、次の総会での再会を約し午後5時頃散会した。

総会への参加を

お待ちします

東京龍門会会長 **今村 彬**
(高2回)

新緑の候となり、皆さんお変わりありませんか。昨年から今年にかけて、まさかと思うような事が色々ありました。

ルーマニアに始まりベルリンの壁、ソ連での大統領制の選択等々、今まで厚いベールに包まれていた東欧での急激な変革には驚きました。

国内に於いては株価大暴落と歯止めのかかない円安、これからの予測が大変むずかしい時代になって来ました。さて昨年の総会の報告をいたします。

五月二十日(土)当日は、生憎の天気にも拘らず、会員の皆さん多数の出席と、母校よ

り川畑新学校長並びに、新納同窓会長の御出席を頂き、三州クラブにて開催致しました。総会に於いて次の様な事が決まりました。

○会報を総会案内状と一緒に発送する。

○会員名簿の充実及び発行準備。

○囲碁、ゴルフ等の同好会活動を活発に行う。

総会案内状を総数二千七百通発送しました。住所不明が百九十一通でした。会員の一番の高齢者は前田稔先輩で九十七才になられ、三年前の総会に武蔵野の銘菓をご寄贈いただきましたが、今回はしっかりとした文字で会員の皆様に宜しくとの封書を頂き、先輩の御健在ぶりを伺い知り、我々も大先輩にあやかればと思ひながら手紙を讀まして頂

きました。昨年の三月退官された伊地知先生には、九十周年記念行事や当総会にと大変お世話になり、厚くお礼申し上げます。新納同窓会長の挨拶を頂き、川畑校長からは母校の近況報告があり、進学、文化、体育面に於いて大変躍進しており、母校発展の為に頑張りますとの挨拶をされました。

きました。

今年は、年明け早々の二月に第三十九回総選挙が行われ、同窓の村山喜一(中二十八回)、小里貞利(高一回)の両氏が揃って当選され、二月二十七日に召集された第百十八特別国会において、村山喜一氏は荣誉ある衆議院副議長に、また小里貞利氏は自民党総務局長に就任され、私共同窓にとつて誇りとし心からお祝い申し上げます。今後の益々の御活躍をお祈り致します。

角界に於いては、福園昭男氏(中四十六回)率いる、井筒部屋の隆盛は目をみはるものがあります。待望の大関霧島が誕生し、人気力士の寺尾、逆鉾も上位三役で頑張っており次の場所からがまた楽しみです。なお総会開催日が決まりましたので、是非御出席下さい。

同窓生の愛校心と

熱意に感謝

加治木高等学校校長 **川畑 文雄**
(高2回)

加治木町錦江の出身で両親兄弟皆加治木高校にお世話になりました。この様なご縁のある母校に此度学校長という重責を担う事になりました。2年前の90周年の時は、特に東京龍門会の皆様方には物心両面から多大のご支援を戴き、非常に盛大な実りのある記念式典が挙行されました事を心からお礼申し上げます。加治木高校の90周年が終り、すぐその後で川内高校の90周年があつたのですが、私も式典に参加しまして、式典の模様やその他の教育振興に関する事について見たり聞いたりしてきました。式典の内容また同窓会による加治木のような教育振興会といった組織作りにしても格段の差で加治木高校の方が上回っておりまして、殊に教育振興会についてはこれから始めようといった状態です。同じ90周年を迎える学校でも、同窓生の方々の母校を支える愛校心とその熱意の入れ方で、こうも格段の差が出てくるものかと思つた次第で、ございます。

さて母校の近況ですが現在各学年9学級で27学級ございまして、生徒数一、二〇〇名、男女の比で男子6に対し女子4の割合になっております。進学率の伸びスポーツ面の向上共に順調で、例えば野球など県内110校参加しての大会で常にベスト8までは進むといったように、可也の実力をつけてきております。またその他の部活動でも地区大会等では、5、6ヶの優勝旗やカップを持ち帰ってくるような活躍ぶりでございます。

勉強だけでなく体力、気力を養うといった文武両道の方針で臨みたいと思っております。学校長として良くない事とは思いますが、母校だけになんとも言えない煩惱を感じ、そして先輩諸氏に辱しめない生徒の育成に責任を感じている次第です。今後も同窓の皆様方のご指導とご鞭撻を賜りますことをお願いしまして挨拶いたします。

TEA & PUB RESTAURANT
マッキンレーハウス
商談に... 同期会等に...
中央区銀座6-2-10 合同ビル1階
☎ 572-2595

同窓会報の有料に

ご理解を

同窓会会長 新納 教義

(中30回)

あと8年しなすと母校も100周年。一世紀に一回しかない記念の日を迎えるわけです。それをどのように盛大に行うかです。その前にどのように準備をしてその体制を整えるかにかかっているかと思いません。90周年の時は3年前から準備に取り掛かりました。実感として3年では遅過ぎるということでした。というのは基礎的な作業を進めて行くのどうしても3年は時間不足です。その一番の基礎的作業というのは、同窓生と母校とをいかに密接にどう結びつけて置くかという作業です。俄然思いで3年ぐらい前からそれを進めてとても出来る芸当ではないという事に気がつきました。それでどのような具体的方法で同窓生と母校を結びつけるかという一種の方法論について、いろいろ討議したわけです。まず一番最初になすべき事は、同窓会報というものを通して、同窓会員のお一人お一人と母校を密接に結びつけていくという作業をしていかなければいけないとい

う結論に達しな、けです。

今までの同窓会報を考えてみると、ただ会の報であつて必ずしも読むに値しないものを発行し続けてきたというのが本部の反省でございます。同窓生の方々が知りたがっているのは何か、という角度で問題を詰めていきますと、母校は今一体どうなっているかを知りたがっておられるのではないかと。という事から会報の編集方針を根本から改めました。

まず母校だよりというのを折り込み、具体的に同窓の方々にお知らせすることにしました。それから全国各地で行われている支部の総会の模様を出来るだけ詳しく皆さんに知っていただくという事。三番目には同期の消息を知りたいでしょうから、各期の便りというものを収録していこうという事になりました。しかし各期毎を一度に全部というわけにはいきませんので、順番を決めてそのうち全ての期の動静が報告出来るように編集します。この様な方針で作られたのが今度の新しい同窓会報です。その結果として印刷代がかさみ、本部の総予算の150万円の中で印刷代が非常

に大きな比重を占めるという事になり、それから一人一人のお手元に確実に届けるという方法を取りますと、郵送費の問題が絡んできます。以上のような事を含め、これから事業を進めて行こうとするにはどうしても会報を有料にしなければ、今の本部の体制ではとても賄いきれないということから、2年間の会報の購読料を含めて、母校の同窓会費という形で千円お納めいただくという事を総会でご賛同を得ました。従いましてこれからはこの方法で進めさせていただきます。頂くつもりでございます。

このことは100周年の為の準備の第一歩としてこれを始めたという事です。私共が100周年を直接やるというわけではなく、次の世代の方々に行ってもらうことになると思いますが、それに向けて私共の世代の一つの遺産をこの様な形で残すという事から始まった事です。皆様方のご賛同も得ましてこれをそのまま実行させていただきますという事で、今日は東京龍門会の総会に参加させていただきます。事務的な事だけで申訳ございませんが、挨拶にかえさせていただきます。

同窓会だより

9期関東同期会

(昭32高卒)

- 一、平成1年11月11日
- 一、於ホテルニューオータニ

(紀尾井町)

一、参加者 47名

今回はこれまでの関東同期会に地方の方で活躍中の同期生も参加したいという希望もあって、南は郷里の鹿児島から、そして福岡、大阪、北は仙台からと47名が集まりました。中には30年ぶりの再会

という人も幾人かいて、感激も一入でした。そして懐しい薩摩焼酎とツケアゲ等の差し入れもあり、カラオケも加わり会場のポリリズムがあがる中で、刻苦勉勵(?)した頃の昔話とお互いの近況など四方山話に花を咲かせました。(長野)



囲碁同好会

だより

恒例となった囲碁同好会が、平成2年1月20日(土)に三州クラブの和室で開催された。初参加という方も多く、囲碁愛好者約20数名の方々が参加された。「碁盤は人生の縮図にも似たり」なんて大袈裟な事を言うつもりはないが、碁を打っていると幾度か局面の浮沈みに会い、これに立ち向かう時、何とも人生の諸相と相まって、碁に微妙な魅力を感じる。参加者もたぶん大同小異かと思う。

囲碁大会は碁の達人クラス(Aクラス)とヘボ族クラス(Bクラス)とに分かれて、それぞれクラスで熾烈な攻防戦が繰りひろげられた。沈黙考の中で、時々素っ頓狂な声や毒舌が飛び出す楽しい囲碁同好会であった。結果は次の通りで豪華な賞品を獲得された。

Aクラス (初段以上)

優勝 福迫 栄也 (2段)

Bクラス (一級以下)

優勝 今村 彬 (6級)

参加者には囲碁名言入りの手拭い(日本棋院在職の最勝寺氏(高1回)より奇贈)が全員に参加賞として与えられ次回は平成3年1月19日(土)に予定されています。誘い合わせて是非ご参加ください。(係)

会費納入にご協力を

会員所在の情報を

ご存知でしたか!!

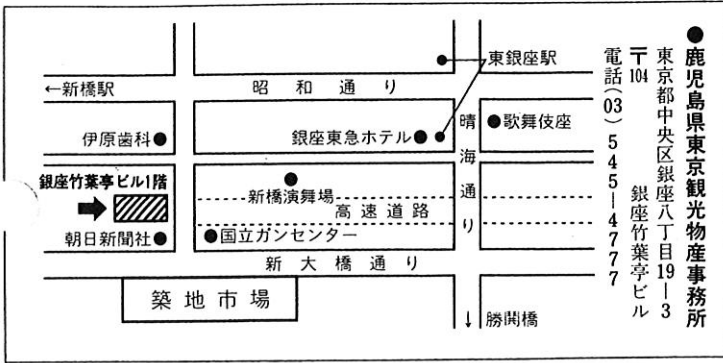
ふる里の観光・物産

鹿児島県東京観光物産事務所を訪ねて

「翔ぶが如く」という名の焼酎が鹿児島で発売された、ある週刊誌を見た。呑兵衛にはまさに欣喜雀躍、どんな味だろう。あんな味かな? こんな味かな? と思いをはせ、生つばをのみ込みながら、鹿児島県東京観光物産事務所だつたらあるだろうと思つて訪ねてみた。アイモシタ、アイモシタ!

観光物産事務所は地下鉄の東銀座駅(日比谷線・都営地下鉄線)で下車し、銀座東急ホテル正門の前から新橋演舞場の前を通り、朝日新聞社とガンセンターへ抜ける大通りに出たら、信号を渡り左へ折れたすぐの所にあつた(略図参照)。

事務所で温厚な厚地幸男所長にお会い出来た。厚地所長は蒲生の出身で昭和26年高3回卒の同窓生。東京への勤務を命ぜられて、早いもので一年になるとおっしゃる。「鹿児島」の山紫水明の自然、古き歴史と文化、良き特産品、農産水産物などを、首都圏を初め広く県外の人々にアピールし、一人でも多く知ってもらい、鹿児島県への観光客誘致促進から物産品の販路拡大を図る温故知新のために、所長さんを先頭に職員一同PRに日夜努力されていることを伺い知った。



「観光については首都圏の大手旅行業者及び航空会社など運輸機関と連携を密にして、観光客の誘致促進を図るとともに、広報活動として羽田空港や東京駅、浜松町の貿易センタービル内に、観光と物産の電照による写真PRコーナーが常設されている。だからお立寄りの節は是非見学して行って下さいとのこと。また東京を中心に関東・東北・北海道に至る主要都市

で物産観光展を開き、鹿児島県の歴史文化、観光地の紹介から、特産品の展示即売等を行い、県の観光資源を広く県外の人々にPRしている。そして東京の事務所では、一般客に観光パンフレット用資料の提供や観光地の写真ネガの貸出し、宿泊及び交通機関の紹介まで観光についてすべての相談を承っております。と所長さんの熱弁はまだまだ続く……。

かつては指宿、霧島、桜島と言えは新婚旅行のメッカとして全国に名を馳せ、訪れる人も昭和49年頃には8千人を上回る状態が、58年頃になると約7千人と落ち込んだ。これは全国各地による国内観光誘致の競争激化によるのと、それに海外旅行ブームの煽りを受けたせいもあって、県の観光を取り巻く状況は非常に厳しいものがあつた。しかしここ数年県PRに力を入れてきたこともあって、やや上向き傾向にある。特に今年NHKの大河ドラマ「翔ぶが如く」で、「舞台は鹿児島」をキャッチフレーズに全県挙げて、宣伝の強化を図っているところですから、その効果は大いに期待できそうです。と所長さんは自信ありげに胸を張られた。

「特産品について」
鹿児島県の特産品といえば、食べ物ではかるかん、さつまあげ、唐いも、いも焼酎、かつお節、お茶、黒豚、漬物類と数えきれないほどの珍味が沢山ある。なかでも最近唐いも(さつまいも)を使つてのアイスクリームや洋菓子類、パンからお味噌といった分野の食品に唐いもが使用され、ヘルシー食品として全国に注目されだしているそうである。そういえば懐しいボンタンアメや兵六餅が、都会の人々に人気を呼んでいるとかいう事を、何かで読んだか聞いたかした、ことを思い出した。お金を

出せば何でも手に入る時代、健康食品、本物志向が見直され、地方の味が好まれふる里をもつ人々には懐しさを、ふる里をもたない都会の人々には、味のふる里として多くのファンを創り出す時代である。その為に事務所としても東京を中心に北は北海道まで、各地の百貨店やスーパーのイベント会場等で年間約30回ぐらゐの物産観光展を開催しておられる。なお東京及びその近郊での県観光物産展計画(5月~10月まで)は次のような日程になっているそうである。

かごしま特産
本格しょうちゅう

金盃

さつま
隼人

国分酒造協業組合
鹿児島県国分市川原1750
TEL (0995) 47-2361

また東京観光物産事務所の一階には、いつも県の特産品の全てが陳列されており、即売されているから是非ご利用してください。そしてこれを機会に東京龍門会の同窓生の皆様のお力添えをいただき、我がふる里の良さを全国に宣伝してもらつて鹿児島おこしにご協力を! と所長さん直々にお願ひされましたので、一言。

ところで冒頭の「翔ぶが如く」という名の焼酎の味ですが、それは明治維新の味(?)でした。ハイ

〔編集係〕

味 処 鏡 誠

お気軽にお立寄りください!!

台東区浅草橋1-23-4
TEL (864)1538
JR・地下鉄 浅草橋駅下車

● 5月16日~22日 川越丸広デパート
● 6月8日~13日 日本橋三越デパート
● 6月14日~22日 東京大丸デパート
● 9月6日~11日 池田武デパート

● 9月20日~24日 船橋東武デパート
● 9月27日~10月2日 横浜松坂屋デパート
● 10月12日~17日 水戸京成デパート
● 10月24日~29日 新宿小田急デパート